

# 2024年 年次報告書

一般財団法人 神石高原地域創造チャレンジ基金

(2024年9月発行)



## コロナ禍の影響がほぼなくなったこの1年、定常状況に戻りつつある経済。基金のこれまでの活動報告を兼ねたフォーラムも開催し、神石高原地域創造チャレンジ基金も節目を迎えた1年となりました。

神石高原地域創造チャレンジ基金（通称 チャレンジ基金）は、神石高原町地域における産業の振興をはかり、地域のにぎわいを創出することにより、当該地域の事業体の運営を支援し、当該地域が継続的なコミュニティとして発展拡大することに寄与することを目的に、事業資金支援、事業運営支援、その実績を発信することにより、地域のにぎわいの創出にも貢献する活動を2017年より継続して行なっています。

今年も支援先は増え、現在、支援先は11事業、合計10,080万円事業資金支援を行っており、自然豊かな神石高原町ならではの神石牛関連牛舎の拡大や古民家ゲストハウス事業、ジビエペットフード事業、小規模水力発電事業など多岐にわたります。

また基金も設立7年をこえ、おかげさまで支援先数が拡大してきたこともありまして、現在（2024年9月時点）までの支援による効果をいくつかの切り口で今年度も取りまとめましたので、本報告書にて効果を定量的にご共有いたします。今後も継続して見直してまいります。

私たちは、今後も継続して支援先事業者のみなさんとともに、活動を続けてまいります。また、事業遂行の苦勞を乗り越えた経験とノウハウは、広く地域創生を目指す全国の仲間たちにも情報を共有し、地域創生のプラットフォームとなるべく尽力してまいります。

引き続き、ご指導ご鞭撻のほどどうかよろしくお願いいたします。

一般財団法人 神石高原地域創造チャレンジ基金  
(通称 チャレンジ基金)  
代表理事 上山実



# 支援先事業の状況報告

合同会社中ちゃん農園：農産物の生産、加工、販売

## 【概要】

代表者：細川 中一

支援決定：2023年1回

資金支援額：50万円

資金活用：農産物加工施設の拡大（冷蔵庫設置）

ホームページ：<https://chuchan-farm.com/>



<加工施設にて製造された加工品>

## 【現況報告】

昨年、導入しました「プレハブ型冷蔵庫」が大いに役に立っています。と言うのも、夏場は写真の様な「つけもの」は、本来出荷は不可能に近いのですが冷蔵庫があることにより出荷ができています。夏野菜は誰もが同じ時期になる為、道の駅では商品がだぶつき、そして値崩れします。そのような時「漬物」として出荷できることのメリットは大変大きいと考えられます。残念な事に今年は「梅」が大不作でトータル50kg程度しか収穫できませんでした。冬野菜である大根や白菜ができ次第、漬物に加工して販売したいと思います。

## 【代表からのメッセージ】

これまでチャレンジ基金様より農産物加工場の作成における支援、この度はプレハブ冷蔵庫の設置における設置のご支援をいただきました。今後、更なる地域の農業におけるパイオニアとして頑張っていきたいと思っております。

# 支援先事業の状況報告

## 株式会社ヴィレッジホーム光末：農畜産物の生産販売

### 【概要】

代表者：光末 幸司

支援決定：2017年1回

資金支援額：2000万円

資金活用：神石牛関連牛舎の拡大

ホームページ：<https://vhm.jp/>



<神石牛の子牛>

## 【現況報告】

農畜産物の製造販売を手掛ける中で、人気があるものの数がすくなくなってきた、貴重なブランド牛「神石牛」の繁殖から肥育までの一貫の事業を遂行されることを目的にされ、2019年3月に新築牛舎稼働、12月にも子牛牛舎が完成し稼働開始しました。

現在の飼養頭数は、繁殖素牛55頭・子牛40頭・肥育牛24頭（R6年9月23日現在）と、100頭を超える規模になってきました。

特に肥育素牛に関しては保留・導入基準を儲け①神石血統②雌牛③20～22カ月肥育（月齢30～32カ月）といったこだわり設け、お客様に美味しく召し上がってもらえるよう、大事に飼養管理を行っています。

## 【代表からのメッセージ】

近年、紛争による飼料価格・燃油価格の高騰により、枝肉価格・子牛価格の下落により経営を圧迫していますが、今できる最善を尽くして神石牛の振興に努めていきます。

# 支援先事業の状況報告

## 株式会社フェアトラベルジャパン：古民家活用ゲストハウス運営

### 【概要】

代表者：高 斗煥（ゴ ドウファン）

支援決定：2018年1回

資金支援額：1,000万円

資金活用：古民家のゲストハウスへの改修



＜韓国の子どもたちの神石高原町探訪＞

## 【現況報告】

冬の間は休業し、4月から営業を再開しており、令和6年8月までの今年の宿泊人数（延べ人数）は20名になります。

神石高原町観光協会との協力で韓国の子供たちを神石高原町の役場見学や農家民泊の体験などを実施する旅スクールプログラムを夏休みと冬休み2回実施しております。宿泊だけだと収益確保に限界があるため、このように宿泊と連携できる旅行プログラムを企画し、韓国の学校などに提案しております。

まだ企画段階ですが、日本の自由学校グループと連携し、思惟の森を拠点とした自由学校作りプロジェクトを企画しております。モデルとしては東川町の自由学校を考えていることで、今はメールで簡単なアイデアを話しする段階であり、具体的な企画になるまでには時間がかかるとは思いますが、色んなことにチャレンジしてみたいと思っています。

## 【代表からのメッセージ】

神石高原町には外国のこどもたちが楽しめる魅力的な資源が多いと思っています。もっと多くの人々に神石高原町の魅力を知ってもらうため、思惟の森を拠点とし、色んなチャレンジをやっていきたいと思っています。去年の夏休みと冬休みに神石高原町や広島県を旅した子供たちは今もここでの旅行の思い出を嬉しそうに話したりしております。暖かく歓迎してくださった神石高原町の皆さまのおかげさまだと思っています。

町内の皆様に感謝を申し上げます。また、今後ともよろしくお願い致します！

# 支援先事業の状況報告

## 株式会社ナオリイ神石高原：「浄酎」の製造販売

### 【概要】

代表者：三宅 紘一郎

支援決定：2018年2回

資金支援額：300万円

資金活用：クラウドファンディング製造販売関連

ホームページ：<https://naorai.co/>



<新しい商品ラインアップ>

## 【現況報告】

広島県各地の日本酒酒蔵の純米酒を原料に、特許技術を活かした低温で蒸留しアルコール度数を高めウイスキーやスピリッツのようにする浄酎を神石高原町で生産し、東京や大阪等都市部の百貨店や飲食店、またインターネットでのギフト販売など販路が広がって参りました。品質をさらに追求していき、良いブランドにできるようこれからも事業を進めて行きたいと思えます。日本産の酒類の海外での注目度も高まってきていますので、これからは日本国内市場に加え、アメリカやヨーロッパ、アジア各地への輸出にも力を入れて参ります。

## 【代表からのメッセージ】

日本酒を低温で蒸留（低温浄溜<sup>◎</sup>）するお酒浄酎を日本で初めて神石高原で生産することができ、世に出す事ができました。神石高原町の役場の方、場所を貸してくださっている旧田中酒造様はじめ神石高原町の多くの方にお世話になりここまで歩んでこれました。

日本酒酒蔵再生を目的に日本を代表する酒ブランドに育てていけるようこれからも事業を続けて参ります。

# 支援先事業の状況報告

## 株式会社ヤマテツRising：水回り関連インフラ・井戸掘削工事

### 【概要】

代表者：山本 哲也

支援決定：2019年1回

資金支援額：1,000万円

資金活用：事業スタート関連費用



<井戸ボーリング工事の様子>

## 【現況報告】

原材料の価格高騰で、取り扱い商品の値上げ幅が非常に大きくなっているのが現状です。

当社の取り扱う商品は日常生活の中でも、壊れるまで使用する物というカテゴリーに入りがちで、景気の影響は受けやすいです。

反面では、最近、町内の空き家へ移住される方から井戸水等の問い合わせが続いており問題に真摯に取り組む事で、神石高原町に来て良かったと喜んで頂けると思っています。当社にとっても、新規顧客獲得のチャンスでもあり今後活かしていきたいと思っています。

## 【代表からのメッセージ】

創業より5年間、地元の皆様に支えられて、今日まで頑張る事が出来ました。振り返ると、5年前にチャレンジ基金様との出会いがなければ、現在はなかったのかもしれない。この出会いを大切に感謝しながら、これから先の5年、10年を神石高原町中心に当社の強みであります井戸ボーリング工事を柱においてコツコツと頑張っていきたいと思っています。

# 支援先事業の状況報告

## 株式会社ダストマンズ：動画および動画教育コンテンツの作成

### 【概要】

代表者：村上 勇太      支援決定：2019年2回  
資金支援額：500万円      資金活用：油木高校クラブ継続支援のためのコンテンツ拡充  
ホームページ：  
<https://www.youtube.com/channel/UCMyJ5odq13TMrW-sNqC0ZJQ>

### 【現況報告】

映像制作事業では広告映像に加えて、最先端コンテンツ（メタバース関連）に関する映像制作が増えてきました。加えて音楽関係の映像（ミュージックビデオやライブの映像演出）にも取り組むことができ、来期はより幅広いジャンルの制作を行う予定です。また、旧百彩館のリニューアルに向けたプロジェクトも進んでおり来期は町内の事業者と連携を強化していく予定です。

### 【代表からのメッセージ】

今後は映像に興味のある油木高校生と共に、旧百彩館リニューアルに向けた映像制作を進めております。でき次第みなさまに見ていただければと思います！



<今年作成したライブでの映像>

# 支援先事業の状況報告

## 株式会社DroneScenery：ドローンスクールの運営

### 【概要】

代表者：宮池研吉                      支援決定：2019年2回  
資金支援額：240万円                資金活用：ドローンスクール開業関連  
ホームページ：<https://www.dronescenery.co.jp/>



<町内の学校にてドローン空撮>

### 【現況報告】

スクールについて、昨年国家資格の登録講習機関登録の申請をしておりましたが、期間中の登録ができず、再申請中です。

当時と条件が変わっており、最速でも来年度の開業になりそうです。

大型搬送用ドローンは、経産省の視察等ありましたが、まだ実用に繋がっておりません。まずどこかで使ってみることを考えています。

町の事業として、今年も小中学生の次世代育成事業と鳥獣害対策のドローン活用が決っております。

### 【代表からのメッセージ】

ドローンはいろいろなところでの活用事例もでき、広がりを見せつつありますが、まだまだ実用に結びつけるイメージ作りが難しく感じます。

今年度は様々なイベントに参加し、実用に結びつけるイメージを落とし込んでいきたいと考えています。



# 支援先事業の状況報告

## 株式会社アールティー：よもぎ茶の製造販売

### 【概要】

代表者：赤木剛志                      支援決定：2021年2回  
資金支援額：400万円                資金活用：よもぎ茶の製造販売関連  
ホームページ：<https://lif-exp.com/detail?sid=3570>



<よもぎ茶の商品>



<よもぎ加工の現場>

## 【現況報告】

よもぎ茶の製造販売事業を始めて、早4年目に入りました。

昨年の6月より、20パック入り商品に加え、お客様がよりお気軽にお買い求めやすいように8パック入り商品を作り、販路拡大展開を行っております。

ネット販売以外にも広島のエステサロンやよもぎ蒸しサロン等実店舗にも置いていただいております、神石のよもぎ茶は好評です。

## 【代表からのメッセージ】

今春の買取量も十分に確保することができ、例年通り品質の高い「よもぎ茶」をお客様のもとへお届けすることができております。神石高原町内の野山に自生している天然のよもぎのみを使用しておりますので、無農薬・無添加の安心安全なオーガニック「よもぎ茶」ですので、商品には自信があります！

# 支援先事業の状況報告

## 神石高原グリーン電力株式会社：小規模水力発電の民間による売電事業

### 【概要】

代表者：松井 泰二

支援決定：2022年1回

資金支援額：2,700万円

資金活用：小規模水力発電の民間による売電事業



<発電所開所式の様子>

## 【現況報告】

当発電所で発電した電力は、固定価格買取制度の下、中国電力ネットワークに全量を買って取ってもらっています。計画当初は、令和5年3月に本格稼働する予定でしたが、水車の排水口の排水抵抗が想定より大きく、結果、発電出力が想定より上がりきらないという問題が発生しました。その後、水車の排水口の改良工事を追加で行いましたが、発電所の本格稼働は同年7月からとなりました。また、同年11月以降には高梁川水系が渇水状況に至るほど、仁吾川の水位は低下したこともあり、令和5年の発電実績は年間稼働目標を大きく下回りました。令和6年7月度までの発電状況としては、前年からの渇水状況からは脱し年間目標としては順調に発電を続けています。また、令和6年4月18日に、町役場関係者地元関係者にはご列席いただきながら、仁吾川ビレッジにて発電所の開所式を開催しました。

## 【代表からのメッセージ】

本格稼働してから約1年が過ぎ、発電設備は順調に動いてきております。国の固定価格買取制度の20年間の期間を含めて、以前の設備に引けを取らない持続的かつ安定した発電が実現できるように、しっかりと管理・保守を行ってまいります。

# 支援先事業の状況報告

## 株式会社BINGO：ジビエ肉を活用したペットフード事業

### 【概要】

代表者：前田 諭志

支援決定：2022年2回

資金支援額：1,500万円

資金活用：ジビエ肉を活用したペットフード事業関連

ホームページ：<https://bingogibier.com/>



＜「第10回ディスカバー漁村農村の宝アワード」の様子＞

## 【現況報告】

令和5年度、備後ジビエ製作所（神石高原施設）は、新市施設と神石施設を合わせて過去最高となる1400頭の猪を処理しました。神石施設では新商品となるペットフードの製造も増え、販売も順調であることから、原料の鹿肉や猪肉が不足する事態となっています。また、農林水産省の「第10回ディスカバー漁村農村の宝アワード」で審査員特別賞を受賞し、「鳥獣対策優良活動表彰」では農村支局長賞を受賞しました。さらに、神石高原町施設では年間330頭の処理を達成しましたが、今後も処理頭数の増加が求められています。

## 【代表からのメッセージ】

備後ジビエ製作所の代表前田諭志です。2024年には豚熱の影響で、さらに猪や鹿の数が不足する見通しです。鹿や猪を捕獲した際には、捨てずにぜひ当社へご連絡ください。会員登録がなくても、まずはお電話いただければスタッフが対応し、捕獲後の処理が楽になります。気軽にご相談いただければと思いますので、今後ともご協力をよろしくお願い申し上げます。

# 支援先事業の状況報告

## ルッカー合同会社：ICT教育事業

### 【概要】

代表者：今泉 理良香

支援決定：2023年2回

資金支援額：200万円

資金活用：ICT教育事業設立における初期費用等



<放課後ICT教室の様子>

## 【現況報告】

弊社は、ICTの力を活用し地域や経済的な制約に関係なく、子ども達が高品質なICT教育へアクセスできるよう、昨年度神石高原町で放課後ICT教室をスタートさせました。

具体的には、放課後児童クラブでの預かり時間を活用し、タブレットならではの立体や迷路等の知育ゲーム（立体図形や数的感覚等を養うもの）の実施や、プログラミングの基礎を楽しみながら学んでもらっています。参加児童の満足度も高く、少しずつ本事業に興味を持っていただく自治体も増え事業を広げています。

## 【代表からのメッセージ】

夏休みに本格的にICT教室を開始しましたが、ICT教室を始めますという掛け声で、子ども達がとても楽しそうに歓声を上げてくれたのが、とても印象的でした。みんな楽しみながら学んでくれていて、この体験を広島の子ども達に届けることができ嬉しく思うのと同時に、もっとたくさんの子ども達に届くようにさらに広げていきたいと思っております。

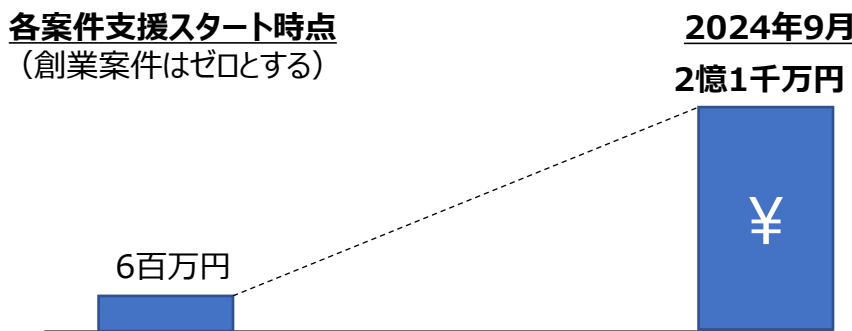
# チャレンジ基金の支援の効果について

## 現在までのチャレンジ基金支援の効果まとめ

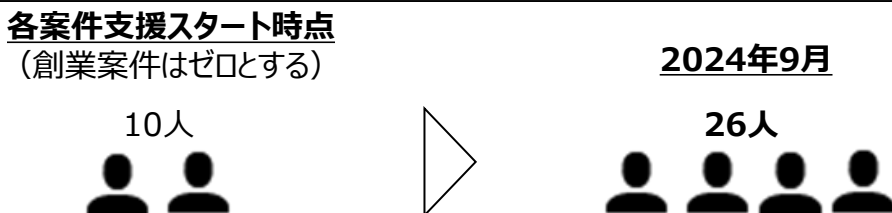
2017年の基金運営の開始からこれまでのおかげさまで多くの支援を実行することができました。そこで支援先のみなさまに対しての一定の支援の効果が計れるタイミングと判断し、一昨年より、支援先合算の数値になりますが、4つの切り口での効果をご公表させていただいております。

### 【これまでの支援効果（時点2024年9月、2023年度までの投資先11件合計）】

#### <売上高の拡大（2023年度までの支援先10件合計）>



#### <雇用の維持と拡大（同上合計。正規雇用、パートアルバイト合計）>



#### <支援以降、支援先が金融機関の借入や、助成金等をいただいた金額合計>

## 3億4,642万円

⇒ 基金が一定のリスクを負担する形で、タグボートの支援役割をはたし、多くの金融機関や事業者さまから直接の追加での金融的支援をいただけたものと考えております。

#### <支援以降、支援先がメディアに掲載された回数の合計>

## 42回

⇒ 支援先のみなさまがメディアに取り上げていただくことにより、「挑戦のまち」神石高原町の宣伝に大きく役立っているものと考えております。

また、チャレンジ基金の説明会、個別相談会には、24年9月までで**累計71件**ご参加いただき、審査のお申込み自体も、**累計35件**に達しております。神石高原町における、「起業や新規事業の拡大」の機運の醸成には微力ながら役立っているものと考えております。

皆様のご支援、各支援先のご努力、追加支援の輪の拡大の循環で、現在まで上記のような効果が表れてきております。引き続きご支援のほど、よろしく願いいたします。

# チャレンジ基金について

## ○新しいビジネスチャレンジをサポート



チャレンジ基金は、神石高原町地域における産業の振興をはかり、地域のにぎわいを創出することにより、当該地域の事業者の運営を支援し、当該地域が継続的なコミュニティとして発展拡大に寄与することを目的に2017年設立。神石高原地域で新しいビジネスチャレンジを行う事業者に対して、資金的な資源提供を行うと同時に、伴走型支援と呼ぶ経営指導を一緒に実施していくことで、事業者の経営を安定化させると共に、自律的な運営を促すことで、新規事業者の参入を容易にしていこうを目指しています。少子高齢化と人口減少が進行した神石高原町であるからこそ、次代を担う人材の新しいチャレンジを応援することで新しい事業創造を図り、地域の活性化、にぎわい創出に繋げていく活動を進めます。

### 【住所】

広島県神石郡神石高原町小畠小畠 1 7 0 1  
(神石高原町役場内)

### 【ホームページ】

<http://jinseki-kikin.jp/>

### 【公式facebookページ】

<https://www.facebook.com/jinsekikikin>